

「渋谷エクセルホテル東急」を平成12年4月7日に開業

「渋谷マークシティ」、「マークシティイースト」（ホテル棟）部分

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、渋谷区道玄坂において帝都高速度交通営団、京王電鉄と共同で開発を進めている「渋谷マークシティ」の“マークシティイースト”（ホテル棟）に「渋谷エクセルホテル東急」を平成12年4月7日に開業します。

当社が全国に展開している東急インチェーンのホテルブランドのひとつ「エクセルホテル東急」は宿泊客主体ホテルとしてハード・ソフト両面における高品質化をテーマにしたホテルで、「渋谷エクセルホテル東急」は富山、博多、札幌に続く4店舗目になるものです。

「渋谷エクセルホテル東急」（総客室数408室）は「大人と女性」をキーワードに、情報文化を発信する街「渋谷」の特性に対応したホテルづくりを行っています。

具体的には、

- ①ビジネス客に対応するために、室内に大型のライティングデスクを設置し、また、パソコン通信などのための電話回線端子を用意しています。
- ②女性のお客さまに安心して宿泊していただくために、該当フロアのカードキーが無ければエレベーターが停止しないなどのセキュリティ対策を施したレディースフロアを20階～21階に設けます。なお、このレディースフロアについては、当社ホテル事業部内に女性社員からなるレディースフロア検討会を設け、そこでの検討結果が室内装飾やアメニティグッズなどに活かされています。
- ③レストラン・ラウンジは、「くつろぎと楽しさ」をテーマにした空間づくりを行い、特にレストランは眺望を楽しみながら食事をしていただこうと、最上階の25階に設け、商談などのビジネス需要に対応できる個室を備えた和食堂と気軽にフランス料理が楽しめるフレンチレストランの2店を出店します。

当社では、渋谷において既に「渋谷東急イン」（昭和54年1月開業）を営業しておりますが、今回の出店は、渋谷におけるビジネス・観光の集積規模からいってホテルの絶対数が不足していること、また、「渋谷エクセルホテル東急」が客室の高品質化とさまざまな宿泊需要に対応できる多様性により、新たな客層を渋谷に引き込むことができるホテルであるということから、両ホテルが互いに補完し合うものと考えています。また、「セルリアンタワー」が竣工する平成13年春には、(株)東急ホテルチェーンが運営する国際高級ホテルが出店する計画です。これにより、渋谷に東急ブランドのホテルが3店舗出店することになり、それぞれの特徴を活かすことで渋谷の都市機能の充実と活性化に寄与するものと考えております。

「渋谷エクセルホテル東急」は、帝都高速度交通営団、京王電鉄、当社が建設する建物のホテル床部分を借り受けて出店し、運営は株式会社関東東急インに委託する予定です。

この出店により東急インチェーンは46店舗、10,035室となります。

「渋谷エクセルホテル東急」の概要は次のとおりです。

「渋谷エクセルホテル東急」の概要

○名称	渋谷エクセルホテル東急
○所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目14番外
○交通	東京急行電鉄（東横線・新玉川線）、京王電鉄（井の頭線）、帝都高速度交通営団（銀座線・半蔵門線）、東日本旅客鉄道（山手線・埼京線）の各渋谷駅に直結
○建物構造	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階地上25階建
○延床面積	21,492.65㎡（ホテル床部分）
○階層別利用形態	1 F エントランス 3 F エントランス 4 F バック諸室等 5 F フロント、ラウンジ、ロビー、売店、車寄せ 6 F 宴会場 7～24 F 客室（20～21 F：レディスフロア） 25 F 和食堂、フレンチレストラン
○客室	408室 [内 訳] シングル 164室（20・21㎡） ツイン 175室（24～32㎡） ダブル 32室（21・24㎡） トリプル 17室（34㎡） フォース 8室（40㎡） デラックスツイン 10室（40㎡） スイート 1室（95㎡） バリアフリー 1室（54㎡） ※客室全体の約40%を禁煙ルームにする予定です。
○付帯施設	和食堂（25 F） 100席 フレンチレストラン（25 F） 70席 ラウンジ（5 F） 82席 宴会場（6 F） 470㎡（A：280㎡、B：130㎡、C：60㎡）
○出店形態	帝都高速度交通営団、京王電鉄、東京急行電鉄が共同で建設する建物のホテル床部分を借り受けて出店
○開業	平成12年4月7日
○運営方法	東京急行電鉄の全額出資による株式会社関東東急インに運営を委託する予定

以上